

ホタテガイ採苗速報

付着数が非常に多い採苗器は間引きを行ってください

1 各地採苗器への付着状況

6月8日～9日に行った臨時付着稚貝調査の結果は、表1(別表)および図1～図3のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、**西湾の間引き後**で35,596個/袋、**東湾の間引き前**で419,840個/袋(第1回付着稚貝調査時はそれぞれ206,123個/袋、384,981個/袋)でした。

稚貝の平均殻長は西湾で1.57mm、東湾で1.17mm(第1回付着稚貝調査時はそれぞれ0.96mm、0.87mm)でした。

キヌマトイガイとムラサキイガイの付着数は、西湾平均ではそれぞれ3,952個/袋、4,916個/袋と、第1回付着稚貝調査時(それぞれ62,261個/袋、27,697個/袋)よりも少ないですが、東湾平均ではそれぞれ594,944個/袋、303,104個/袋と、第1回付着稚貝調査時(それぞれ382,531個/袋、94,560個/袋)よりも多くなっています。

ウミセミの付着はありませんでしたが、ヒトデの付着は一部地域で見られました。

表2 各ブイの1週間(6/4～6/10)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	13.2～15.1	東田沢ブイ	13.9～15.2
奥内ブイ	13.4～15.3	野辺地ブイ	13.6～15.2
青森ブイ	12.2～15.3	東湾ブイ	10.1～15.0
		浜奥内ブイ	14.2～15.4
		川内ブイ	14.2～14.8

2 海況

各ブイの6月4日～10日の平均水温は、表2のとおりです。平年と比較すると、平館ブイの15m層でかなり高め、青森ブイと東湾ブイの15m層ではなはだ高めとなっています。

3 今後の見込み

東湾ではホタテガイ稚貝が殻長1～2mmサイズで間引きできる大きさになっています。付着数が非常に多い採苗器は稚貝の成長が悪くなり、稚貝採取が大幅に遅れる可能性があるため、間引きを開始してください。

西湾でも付着数が非常に多い採苗器は引き続き間引きを進めてください。

ヒトデのブラキオラリア幼生が見られなかったことから、今後大量に付着する可能性は低いと思われます。また、ウミセミによる食害を防ぐため、穴の開いた袋は使わないようにしてください。

6月22日に第2回全湾一斉付着稚貝調査(間引き前の上、中、下段と間引き後の中段、合計4袋)を行いますので、稚貝採取時期については6月25日発行予定の採苗速報第12号を参考にしてください。

※袋替えおよび間引き作業の注意点

- ・採苗器の状況を十分に把握する(稚貝の付着数は地域、垂下水深、投入時期等によって異なる)。
- ・稚貝へのショックは出来るだけ少なくする(間引きを行う場合は、流網などの付着基質を上下に振るだけにして船べり等に叩き付けない)。
- ・ヒトデの付着が見られる場合は網の結び目をよく洗う。
- ・採苗器へ残す稚貝の数を自分の目で確認しながら適正にする(2万個程度になるように)。
- ・作業後は、施設を安定させる。

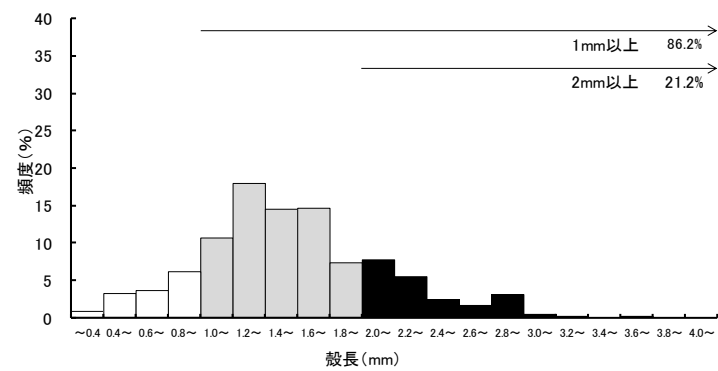
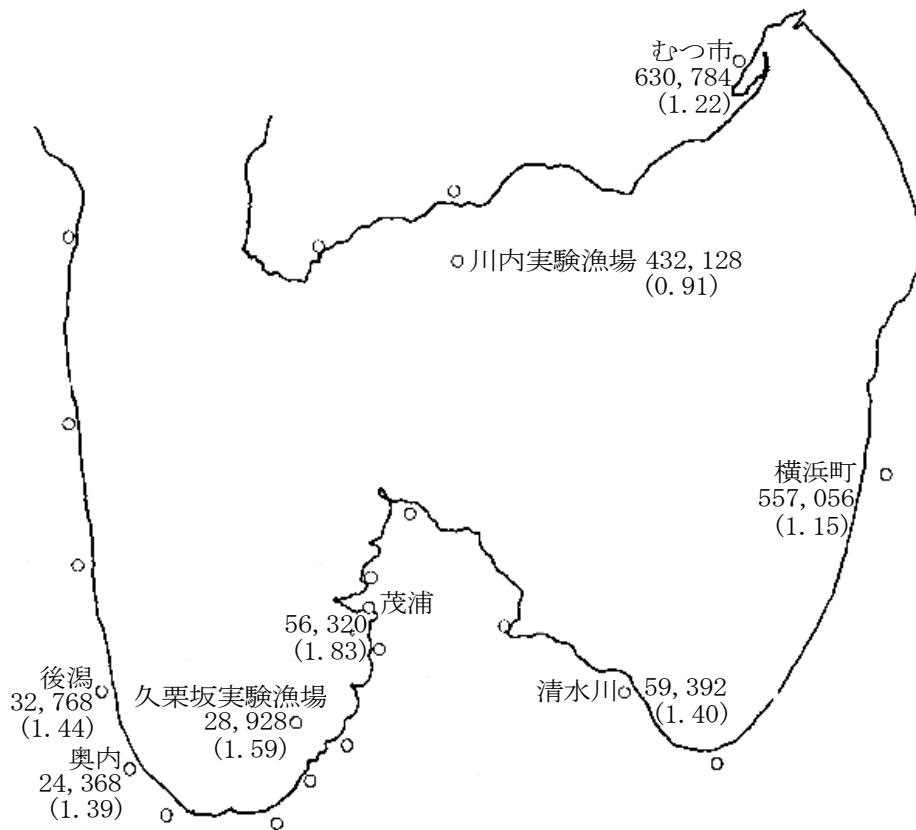


図2 臨時付着調査時のホタテガイ殻長組成(西湾平均)

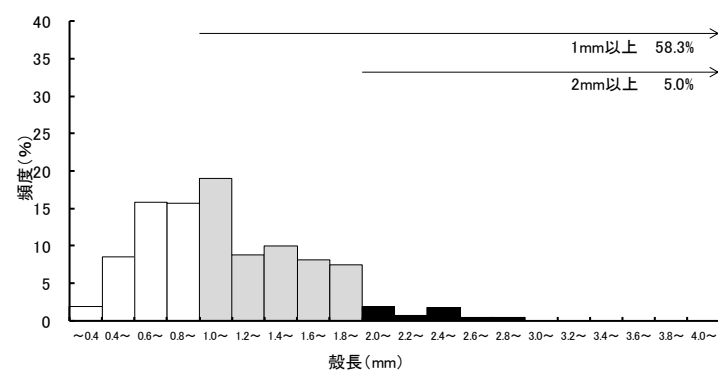


図3 臨時付着調査時のホタテガイ殻長組成(東湾平均)

図1 調査地点毎のホタテガイ付着数[単位: 個/袋(平均殻長mm)]

